



# Life Crossing

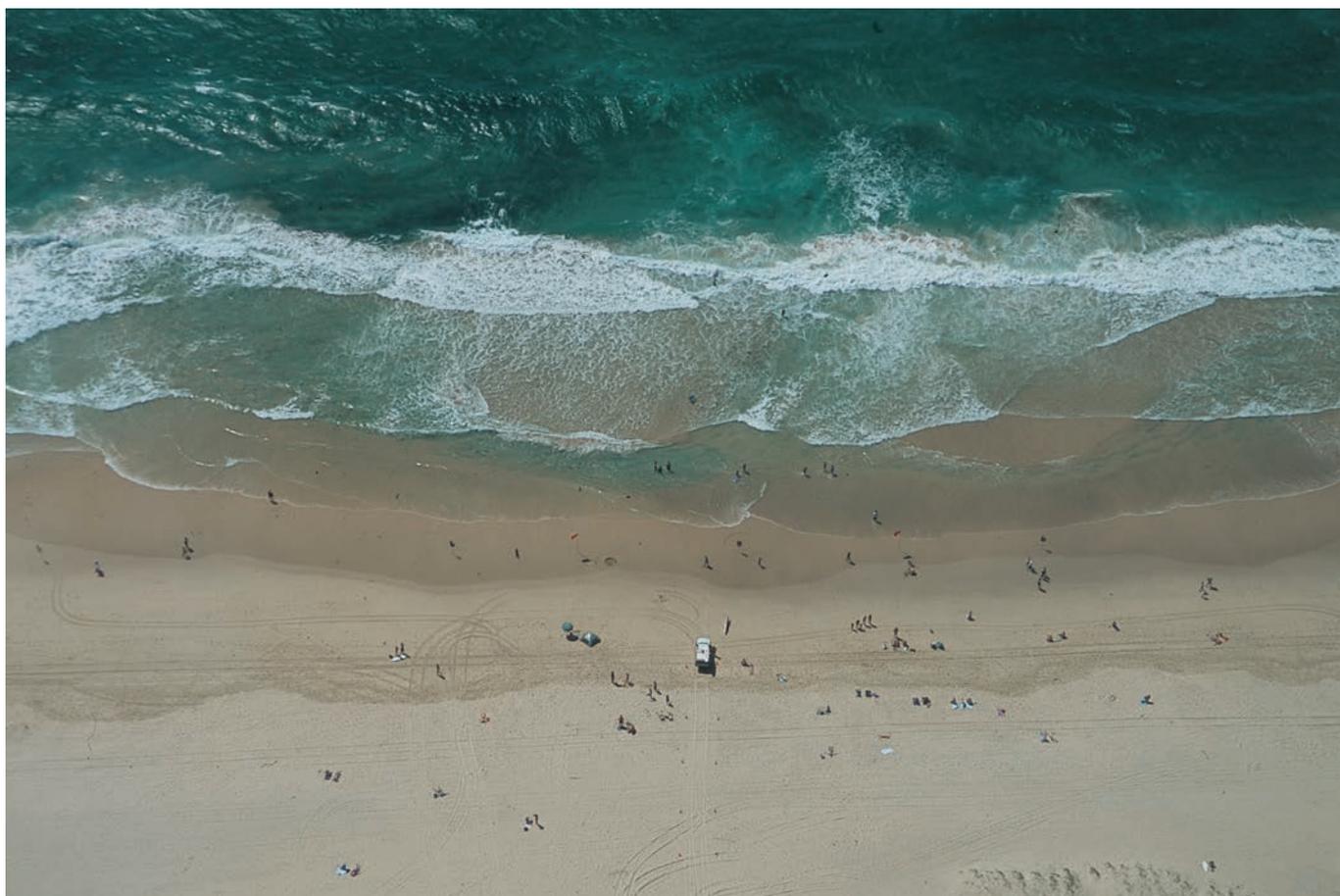
「乱れ打ちかわら版」あらため／季刊（創刊2001年）

**2019年夏・57号**

信条・世に媚びず ・ 粹にとらわれず  
・ 言いたいことはハッキリ言おう

発行／吉田 進  
携帯 090-3168-1063  
FAX 072-863-0605  
〒110-0015  
東京都台東区東上野 3-26-10 FC204号

URL : <http://www.kawaraban.ne.jp/>  
E-mail : [info@kawaraban.ne.jp](mailto:info@kawaraban.ne.jp)



大波の前で人間は豆つぶ。激動の世界を生きる姿に似る。助け合わねば（サーフィンのメッカ、オーストラリア・ゴールドコースト）

## CONTENTS

世の中・社会・文明・歴史・家族・自分のことを書いています。

<p>新年号「令和」で列島お祭り騒ぎ - 冷静になって天皇制を考える - ..... 2</p> <p>米中会談もの別れ 核戦争をどう防ぐ 三田 栄考... 3</p> <p>3・11から8年、日本の歩むべき道 - 小泉純一郎講演会 脱原発への思いに手ごたえ 星野 輝夫... 4</p> <p>宇宙の生命ボイスに出会って 丸山 牧夫... 5</p> <p>元号騒ぎで考えた 三枝 のんこ... 6</p> <p>鬱病と闘う家族 大山 桜... 7</p> <p>古都鎌倉名物スタンディング インタビューと文責 CROSSING編集部 ... 8</p>	<p>日の丸、君が代、天皇そして憲法 近藤 政之...10</p> <p>自費出版した「ドイツ進出奮闘記」 後藤 昌三...11</p> <p>藤沢周平（下）- 故郷（ふるさと）忘じ難く - 市川 隼...12</p> <p>恭子の日記⑩ 教育のひとつま 中田 恭子...13</p> <p>組織も金も人もいない主婦が当選できた区議選挙 馬場 正雄...14</p> <p>酒井なつみさんの選挙に参加して.....15</p> <p>編集後記／読者からのお便り.....15</p> <p>新しい時代 新しい私 みつけよう 増山 麗奈...16</p>
--	--

# 象徴天皇制を考える

## 令和

### 昭和天皇の人間宣言

極東軍事裁判は、「天皇は裁かず」だった。「陛下さん、青春のまっ盛りに、あなたのために死んでいった人間へ、あなたは心底から人間の言葉を聞かせてくれたことがありますか」等の声も多かった。その後、天皇は巡幸の旅に出た。

### 平成天皇は全国行脚

民間出の美智子妃とご結婚の平成天皇は、戦没者の慰霊、災害のお見舞等全国行脚の旅で、今や国民のアイドル。



天皇の名で始まった太平洋戦争は、国内303万人、国外数千万人の犠牲者を出した。連合国から降伏を迫るポツダム宣言が1945年7月26日に出たが、指導者らは「国体護持」をめぐるそれを無視。軍部は本土決戦の意志を堅持した。その後終戦までソ連参戦、原爆投下で受諾に至るまでの20日間に、死者が38万人に達した。

### 令和風 和音ひびかせ吹き抜けよ

新年号が「令和」に決まった日、日本列島はお祭り騒ぎだった。商売人は「商売繁昌で令和もってこい」のエビス顔だった。

世論調査では、「令和に好感」は74%、内閣支持率は9%増とか。だが、与野党国会議員の中で「令は命令の令に通じる」「元号は民主憲法になじまない」の声があり、作家の高村薫さんは、「令和は安倍首相のめざす、美しい国」にぴったりだろうが、「令は、国民を律して和を図る」にも取れる」という。

でも一番喜んだのは、へどつぽに陥って、さあ大変の安倍さんではなからうか。アベノミクスは既に破たんし、貧富の格差は拡大する中で、超高齢者社会の歪みは年々深くなっている。

### 「憲法第一章 天皇」を見直す

むかし天皇は神であった。「大日本帝国憲法」第一章第3条は、「天皇ハ神聖ニシテ侵スヘカラス」だった。それが今、第一章の1条〜8条では、象徴天皇としての位置と行為を銘記している。

ところで、世論は「象徴天

皇」について87%が「その任を十分果たされている」という。その結果は、陛下自身が言われるように、人間天皇として、日本各地の被災地や諸施設を巡り、困難苦難の国民を労り、励まされたからだろう。今や天皇は国民のアイドルである。

そこで提案。前記「第一章・天皇」は、「第三章」ではだめなのか？ 次に「象徴」とは何か？ 天皇は、国会や内閣が決めた事項を承認、行動される事項が多いのだが、それらの「象徴」を削り、人間天皇の健康や自由な時間、特に国民と接触される時間を増やすべきだと思いが、どうか？

さて、為政者が天皇を利用することは許せない。またもトランプ大統領が天皇謁見にやってくる。嫌な男。おもてなしする長期療養中の雅子皇后や同美智子上皇后の体調が気にかかる。

次に、東京の下真中にある皇居は世界遺産とし、天皇ご一家の住居は、公務と離れた自然豊かな所へ移られたらと思うのですが。

# 米中会談もの別れ 核戦争をどう防ぐ

東京深川 三田 栄考



被災直後の広島

トランプ大統領と金正恩委員長との2回目のハノイ会談が何の進展もなく終わった。

誰もが決裂とは報ぜず、今後の成り行きを注視するとの見解だ。北への揺さぶりが嵩じて軍事行動に出ないか心配だ。トランプが米韓軍事演習中止など冷静に対応し続けられるか。韓国が両国の中を取持ち得るのか？世界が期待と不安が入り混ざった複雑な思いで事態の推移を見守っている状況だ。互いの読みまちがいが戦争を、核戦争を起こしはしないかと注目される。先年のように心配で、安心して

枕を高くして眠れない状態はご免蒙りたい。安倍首相は米中会談に引きづられて、『会談のための会談は意味はない』と圧力一辺倒だったが『無条件で金委員長と会う』まで変化した。戦前の侵略・植民地主義を反省して北朝鮮を国際社会に引き入れる役割を演じるべきだが、安

倍首相にそれだけの器量はあるまい。

核兵器を開発した北朝鮮は残念ながら『泣く子と地頭（北朝鮮）には勝てない』の覚悟で粘り強く説得しなければいけない。そうトランプ大統領ですら『金は良い奴だ』『約束を守ると信じる』と制裁と交渉を並行している。核戦争を避けるための努力を最優先してもらいたい。

核戦争に突入すると一分一秒も争うので通常兵器が、瞬時に核戦争に突入する可能性がある。万一、片方が1発誤発射であろうとも相手側は全力で反撃に転じるから、国をも抹殺しかねない（近隣諸国にも放射能被害も）、全面核戦争になりかねない。70年前の2発の原爆が大きな被害を後遺症を生んだ。福島原発の被害も気の遠くなるほどの大きさだ。兵器の性能が進んだ原爆が何十発も炸裂したらどれだけ悪影響が残されるか。いや印パだけでなく衝動的に米露も誤作動を起こしたら人類の滅亡の危険すらある。勿論、米朝が本格的核戦争に突入したら日韓も核の洗礼を受ける。日本政府はJア

ラートと称して北の攻撃に備えて避難訓練をしたのだから呆れた。太平洋戦争中、空の要塞B29に対抗するため、国民に竹槍の訓練をした。Jアラートも同じく漫画チックで核爆弾には逃げ道がない。Jアラートの訓練をするくらいなら国交回復の地均しをする方が遥かに有効だ。北にオリピックの招待を、対抗スポーツ交流をした方が有益だ。北がもし日本を本気で攻撃する時は、上陸占領なんぞは現代では有りえない。自暴自棄の互いの、存亡をかけての核戦争しかない。

## 無意味なJアラートでなく 本気で戦争回避を

安倍内閣が軍事費をGDP比1.3%にまで増大しても（これまでは1%以内が方針だった）戦争を止められない。百歩譲って攻撃の一部を防げても全部を防げない。始まった戦争を終わらせられない。戦争は続く。それなら抑止でなく、憲法の説く《武力で紛争を解決するのではなく外交で解決》すべきではないか。外交の目的は戦争回避であり戦争の火種を解消することだ。軍備は開戦の抑止であ

り、攻撃からの防御でしかない。解決ではなくその場しのぎの逃避に過ぎない。だから軍事に金をかけるよりも遥かに外交に力を入れた方が効果大きい。Jアラート訓練を呼びかけなければいけないと思うくらいなら、その10倍の熱意で平和外交で戦争の根元を絶とうとしないのか。いや、私は反戦・護憲派を任じる人達にも、より現実的な状況に即した活動を期待したい。国内向けの運動は自己満足ではないかと思うくらいだ。プーチン大統領の「核兵器を使うことも考慮」発言にロシア大使館にデモ抗議をしないのか！トランプ大統領の中距離核戦略全廃条約からの離脱に声を上げないのか！核兵器禁止条約に日本政府が参加しないことにもっと怒るべきだ。北へは圧力だけでなくレスラー猪木やデビ夫人の如く相互理解の訪問を呼びかけないのか！内向きな運動でなくグローバルな活動こそ実のある成果を挙げられるのではなからうか？

〔19年4月11日記〕

5月7日追補

**小泉元首相が「やればできる」**

3月13日、文京シビックセンターで1800人の聴衆が小泉純一郎元首相の「原発ゼロ、やればできる」の咆哮に圧倒されました。原発を推進した小泉氏が「なぜ原発ゼロ、自然エネルギーへの切り替えを叫んでいるのか」を聞き入りました。主催者の原発ゼロ、自然エネルギー連盟(略称原自連、会長、吉原毅、城南

り、中川秀直氏(元自民党幹事長)が「原発を推進した責任を痛感、事故は人災であり、繰り返しならない」と開会挨拶しました。

**過ちをあらためる**

70分間にわたる脱原発の小泉節が聴衆を魅了しました。「2009年に引退したが、福島原発の事故で原発安全神話の嘘を目の当たりにし、

て改めなければならない。あの事故の直後、原発はすべてストップし2年間原発ゼロでも電気は供給されていた。原発再稼働反対の声に抗して9基の原発が再稼働されている。しかし全電力量の1.7%のシェアであり原発なしでも国民生活、産業は維持できることが明白に。原子力規制委が福島事故の検証もな

く、40年以上口法案を1年前から国会に提出したが、原発推進勢力は棚上げして審議しようとした。転換を推進するために原発推進政党・議員を減らし、原発ゼロ・自然エネルギー推進野党を多数にするよう選挙での国民の選択が必要です」と講演しました。

**東海第2再稼働は絶対危険**

**3・11から8年、日本の進むべき道**  
**—小泉純一郎講演会**

**脱原発への思いに手ごたえ**

東京台東区 星野 輝夫  
(新協建設工業 相談役)



小泉元首相が語った反原発の満員の会場

小泉講演を受けて、原自連幹事長、河合弘之弁護士は「東海第2原発は東京原発とも言える。絶対危険、絶対止めよ」と講演し、「再稼働が認められた東海第2原発は地震津波に弱い。日本最古であり、乏会社、近くに東海再処理工場などがあり連鎖重大事故が起ころなど大変危険である。東京駅まで116キロ、首都圏5000万人住民が被害をこうむる再稼働を止めよう」と訴えました。吉原原自連会長の「原発ゼロ、自然エネルギーへの転換」の閉会のあい

脱原発訴訟の支援を行っています。原自連には元首相の小泉純一郎氏、細川護熙氏、副会長は中川秀直氏、佐藤弥右衛門会津電力社長、河合弘之幹事長が名を連ねています。原自連は団体、企業、個人の活動を寄附に支えられて活動を展開しています。小泉講演会は野中とも氏(NHK元キャスター)の司会で始ま

だまされた自分が悔しく腹立たしい」と語りました。さらに「原発は安全、低コスト、クリーンエネルギーの3つのメリットがあるという嘘は総理のときに聞きたかった。原発推進の政策は間違いだと分ったから私は原発ゼロを叫んでいる。過ちを改めるに、はばかりことなかれ。私も政府も安全神話の過ちを反省し

の老朽原発再稼働を認めている。最大の問題点は使用済み核燃料の処分場。方法が決まらず、フィンランドのオンカロのような岩盤、地下400mの格納庫は日本では作れない。太陽光、風力など自然エネルギーに転換し、地域経済再生を図るべきだ。原自連、野党は原発ゼ

佐藤弥右衛門社長を招く

**会津電力**

**佐藤弥右衛門社長を招く**

昨年9月、台東プラザ、中小企業家同友会が脱原発、自然エネルギーで電力を確保し、地域経済の再生を図っている会津電力(喜多方市)を視察しました。佐藤弥右衛門会津電力社長から原発に頼らず自然エネルギーで喜多方地方の産業、経済を再生する取り組みを聞いてきました。今年4月15日、東京中小企業家同友会台東支部総会の記念講演では佐藤社長の「原発から自然エネルギーへの転換で地域の自立再生を」の講演がありました。経済界、中小企業、自民党の中にもエネルギー政策の転換を支持、推進する勢力が大きくなることを実感しています。

私は福島原発事故で妻のふるさと田村市が放射能被災し、実家のタバコ農家の廃業を余儀なくされました。原発ゼロ、自然エネルギーでふるさと福島再生を目指す原自連の脱原発運動に協力していきたいと思っています。

# 宇宙の生命ボイスに出会って

東京 豊島区 丸山 牧夫

10年ほど前 宇宙の生命に出会った。出会ったと言っても小さな囁きを聞いたというだけで、名前を名乗らず「声」とのみ自分を紹介したので、勝手に「ボイス」と名づけた。

聞いた言葉もいざれどこかに消えてしまうと思い、メモを取り、彼らが伝えてくるときは神経を集中するようにした。会話をしていることで彼らと少しずつ親しくなっていく。だが彼らは人間と違う考え方をしていた。彼らは物に依存していなかった。また人間も宇宙の生命の一つだと教えてくれた。生命の基本は精神的なエネルギーだと何度も話してくれた。

彼らの話を聞いて私は少しずつ変化していった。生活を少し見直すようになった。

1000年前に生まれたとしたら今の生活をどのよう考えるだろうか？ 日本でない場所で生きたとしたら今の

生活をどのように批評するだろうか。それは好奇心を刺激した。お陰で考古学や天文学に興味を持った。人と人が出会うこともその意味を考えるようになった。「偶然な出来事はない」と教わったからだ。

宇宙の生命ボイスは人間の将来の生活を心配していた。人間は宇宙の生命の存在など全く心配していない。まず宇宙全体を意識していない。彼らの話を聞いていいうちに少し物の見方や考え方が変わり「人間の幸福な生き方とはどのようなものか」と考えるようになった。また生物学者の話や環境問題が切実に感じられ、宇宙や生物の本を読むようになった。先人の知恵はどのようなものか関心が湧き、祖先の生活を知りたいと思ひ、遺跡や古代の生活に興味を覚えた。古代人は遠くにあるものではなく、似たようなことに悩み、それぞれが必死に生きていたこと、思いのほか芸

術を愛していたと知り、彼らを身近に感じ楽しくなった。彼らは科学技術の進展に対して人間の意識の大切さに気がつくよう忠告してくれた。「科学技術の進歩を人間の信仰にするな」と伝えてきた。今、人間の考える活動を技術に委ねてしまう傾向が進んでいる。不思議なことに哲学者のパスカルやカントと会話ができた。パスカルは「人間は考える葦」と言ったが「人



宇宙の生命ボイス (天の声)

人間も宇宙生命の一つだ

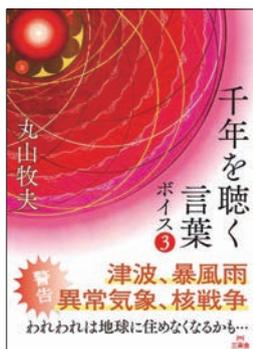
ボイスは耳でなくからだで聞く

えっ 今までと言ったことが違うやん

間に変化し成長する生命」と考えていることがわかった。またカントはボイスの伝えてくる言葉を受け入れ、「人間の良心に期待する」と伝えてきた。このように故人と会話をすることも自由に行えることが分かった。人間の将来を気遣っている先人がいることも驚きだった。

宇宙の生命ボイスの言葉から考えたこと。人と人が顔を合わせ話し合うこと、自然の大切さを確認しようと考えた。また手作りの良さを見直す。太陽の光を感じてみる。遠ざかっていいることをもう一度振り返ってみようと考えた。機械を離れて人間のリズムで物事を考えてみよう。きっと、人間の精神を信頼できる社会に近づけていくのではないだろうかと秘かに期待している。

地震、津波、異常気象、核戦争などに多くの人々が関心を持っている。宇宙の生命ボイスは人間が安心して暮らすための警鐘を鳴らし、「私たち人間はこの地球に愛情を学びにきた」と伝えてくる。もしそのとおりなら愛情とはどのようなことを他の生命にするのだろうか。果たして人間は愛情を学んでいるのだろうか。私たちは、宇宙の生命が伝えてくる言葉に学びながら、現在の暮らしを振り返る時が来ているのではないだろうか。



ボイスという宇宙の生命の言葉をこれからも伝えていきます。彼らとの会話を収めた『千年を聴く言葉』第3巻の発行はまもなくです。

※著者の第1巻、第2巻をご希望の方は編集部ご連絡下さい。消費税、送料は本誌が協力致します。

# 令和

## 元号騒ぎで考えた

### 三枝のい

がはじまる」と語った言葉に、天皇制と国民のありようを露わにした昭和天皇逝去時の記憶がふいによみがえった。敗戦に至るまで「現人神」としてあり続け、戦後、「人間宣言」をおこなった昭和天皇だったが、新天皇誕生までの長い時間、国民は喪に服し歌舞音曲を自粛する有言無言の空気が支配した重苦しい日々だった。一方、今回退位された平成天皇は歴史に対する誠実な姿勢を貫き、国民に「象徴」の意味を投げかけつつ象徴としての天皇を生きようとした初めての天皇だったといえるだろう。そして今回の退位で皇位継承の在り方に、もう一つの道を示された。

できるし、宮中の深窓で「幽閉管理」される長い日々を、よくぞ過ごされたものだとも思う。退任後のご夫妻には豊かな時間を過ごしていただきたいものである。

自然災害続発の異常事態に見舞われる昨今、しかも社会の中心を占めるのは戦争を知らない世代である。被災現地を訪れて人々をいたわり、戦争犠牲者などへの慰霊の旅を重ねてきた平成の皇室の姿に共感する国民感情の変化も大きい。互いに支え合う夫妻の姿は、世間のそれとなら変わることはない。お二人の歩まれた道を考えれば不自由な半生だったことだろうと想像

ところ、前回の「元号発表」の際には見られなかった首相行動があるという。当時の小淵官房長官が元号を発表し、竹下総理は談話発表だけで会見は開かなかった。安倍首相は総理会見を得々と。地方選を視野に何とか目立って有利に選挙戦を展開しようとしたのか？

加えて新天皇即位後、最初の国賓として安倍首相に招待されたのがトランプ大統領。品性のない、世界秩序の時計の針を混沌へと陥れた人の訪問を受けねばならないとは、安倍首相はのちに控える日米通商交渉を有利に進めるための布石をうっていたのではな

いか。天皇の政治利用はやめてほしい。「一強」を背景に何でもやりたい放題、政治を思いのままに操るこの人物。私たちはハーメルンの笛吹き男に連れて行かれないよう注意しましょう。

「令和」礼讚一色となり、「元特番」の空疎なカラ騒ぎに辟易した1日だった。「令」とは「麗しい」を意味する言葉らしいが、東大史料編纂所の本郷和人教授は「巧言令色鮮し仁」という万葉集の「令」を引用。「口先うまく顔色を柔らげて人を喜ばせ、こ

は頭が混乱するばかりで不便だ。いっそのこと西暦だけではないか。しかし茫洋とした時間の流れから時代の姿が鮮やかに立ち上るのは元号だ。思想なし定見なしの身だが、時間を支配する天皇の治世を称える歌「君が代」だけは返上して、国民主権に軸足を置き誇りをもって歌えるものに変えてほしいと願う。

中山恭子・元拉致担当相が政界引退を表明し、朝日新聞の取材に「令和の新しい御代

ける」と意味を紹介し、絶賛に次ぐ絶賛の「令」の否定的意味合いに触れた。また4月8日、「法務省は全国の法務局に『改元以降、出生届や誕生届は新元号を使用する』として、西暦表記の書類の場合は窓口で新元号への変更を求め、不可能な場合は一旦受理して書き直すよう通達した」のニュース。数日後、インターネットで調べてみるとこの情報は削除されていた。天皇の代替わりの度に切りかわる元号と西暦の2本立て

改元名「令和」の発表後、テレビは「金太郎飴」状態。

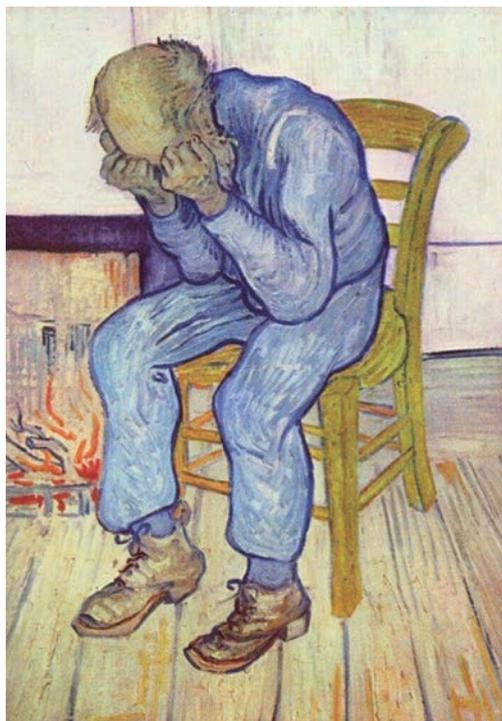
「令和」礼讚一色となり、「元特番」の空疎なカラ騒ぎに辟易した1日だった。「令」とは「麗しい」を意味する言葉らしいが、東大史料編纂所の本郷和人教授は「巧言令色鮮し仁」という万葉集の「令」を引用。「口先うまく顔色を柔らげて人を喜ばせ、こ

びへつらうことは人の心に欠

# 鬱病と闘う家族

千葉県 大山 桜

日本で最近よく耳にする鬱病。種類だけでも沢山あります。単一性だったり、反復性であったり、典型的な鬱病もあれば非定型と言っている事に対しては有頂天になり、他人からの批判に敏感なものもあります。一概に鬱と言っても、軽いものから自殺をして



フィンセント・ファン・ゴッホ作「悲しむ老人」

件をうけて、働き過ぎな日本人で、今まで鬱病だと感じてなかった人も身近に鬱病を感じることもとなり、企業側も数々の対策を打つようになってきました。また他にもインターネットの普及も鬱病を助長させたとも言われています。今回の課題は題名にも書いて

しまいそうな重度のものまであります。5人に1人が鬱病とまで言われています。どうしてこのように鬱病が浸透したのか。みなさんの耳にも新しい、2000年の電通事件です。過重労働による自殺のため、死の責任を電通側にあるとしました。この事

たように、鬱病と闘う人を見守る「家族」の話です。私の母親は鬱病になりました。発症したのは3、4年前から。家族は私と祖母の2人です。家から帰ってきてもお酒を飲むか、煙草を吸ってため息ばかり。今にも泣きだしそうな目を常にしています。そのく

せ、仕事を辞めることはできません。女手一つで私を育ててくれた母は、休むことを知らずに生きてきてしまったのです。責任感が人一倍強く、自分がやらなれないけない。職場の人は私より仕事ができるのに、頑張っているのに何もできない。と言っていつもいつも身を粉にして働いています。以前のCROSSINGに寄稿した原稿で《幸せ》について書きましたが、その一つも母は知らないのです。病院に行っても八方塞がりであり、正直な話、私自身も途方にくれていました。そんな今、思っていることは、日本では中小企業の鬱病の人に対しての支援があまり良くないと感じました。母親は会社に、5人くらいの中小企業に勤めているのですが、休むことはできず、長期に休むとなると実質的に退職をしなくてはいいけない。また、社員の高齢化もあり、鬱病があまり病気にして認知されないという問題点もありました。

上司から見たら鬱病に見えないというのが、一番危険なサインです。心の病気は風邪や怪我とは違い、目に見える不調があるわけではないですが、死に一番近い病気かもしれません。実際に母親は3カ月の休養期間を頂いて、職場に復帰しました。復帰しないと次の人を入れなれないけないと言われ、完治してないのに出勤し、今現在、病気が悪化しています。しかし、会社を辞められずに日々、通勤しています。

主に、中小企業の経営者の方に感じて欲しいことは、鬱病はすぐには治らぬ病であり、時間が必要なことを理解してもらいたいです。日本人はよく、働きアリと揶揄されることが多いと思いますが、まったくもってそうだと感じます。私は母親に寄り添い最善策を日々模索中ですが、中々改善には結び付きません。そして、私自身も母親の力になれていないと自己嫌悪する日が続いています。ただ、この寄稿作品が一人でも多くの人の支えになれば、鬱病の方、ないしは鬱病の家族を持つ方々が少しでも会社で働きやすくなればとおもいました。

# 古都鎌倉名物 スタンディング

インタビューと文責 CROSSING編集部



1人で訴える草野さん

スタンディングと言っても直ぐにはわからない人もいます

でしょう。駅前等に立って政治的主張を呼び掛けることである。観光客で賑わう古都JR鎌倉駅前でも毎週続けて5年近くになる人がいる。その雑踏に紛れてハンドマイク片手に反戦・平和・護憲を呼びかけているわけだ。時には安倍9条改憲NO!の署名を呼びかけたりしている。しかし、ほとんどの人は無関心で見向きもせずに通り過ぎていく。それでもその人、草野智矢さんは続けている。毎週1回は仲間とともにこのスタンディングに立つ。日に複数回での個人だけの回数を含めると1430回を超えたそう。最初一人で行ったのが2014年7月2日。2年近くしてT夫人が、2ヶ月後にT氏も加わり、次いでその友人のK氏

も仲間になった。今では《鎌倉K&T》と称するグループになった。

毎日1回1時間ほどはどこかで立ち、4人では月1回は立つようにしているそう。場合によっては日に複数回、

3ヶ所で3時間以上のこともあった。駅の敷地外であるから駅員から文句を言われることもなくトランプルが起ることはかつてなかったそう。

駅前でも並んで訴えるのを良く見かけるが、それは選挙などの自己宣伝であり自分のための政治活動だが、草野さんはひたすら平和運動であって何の見返りをも本人は求めていない。

「勿論、苦労話の方が多かな。一時間声を枯らしても署名が集まらない日があるとしんどいね。きつかったのは理論をしばしば述べていた仲間が『自己満足は止める』と去った時」。若者にリーフレットを渡そうとした時、「僕は自民派ですから」と言いながら通りすぎた事があった。悔しく思わず涙が出たそう。通り抜け際に「馬鹿な行為は止めたら」と言われたこともある。「個人的には



1人でスタンディングする仲間のTさん

何か所かでの行事が重なりどれを優先するか迷うのもつらい」と、ひきこもごものスタンディングを話してくれた。インタビューさせていただいた折に「左翼の…」と言葉に出すと叱られた。

## 左でも右でもなく単なる一地球市民

「私は平和で穏やかな世界を望んでいるだけです。余りに今の安倍政権がおかしいから、次代に平和を引き継ぎたいと思っただけです。無党派市民ですよ」とのこと。「安倍首相の国民の声を聞かず、嘘と誤魔化しと強引に事を進めようとするやり方。それに対して自分のやれることは何かと真剣に考えた結果がスタンディングで直接訴えることだった。目の前を通り過ぎる人の関心は低い。それでも集めている署名は確実に増

えている。何もしないのと行動をするのでは大きな違いがある。やらないよりはやった方がましなのは当然です」 「好意的に応援してくれる人もいますよ。見知らぬ方から『頑張って』などと言われることもあるし、夏の暑い日に冷たい飲み物を知らない方が差し入れをしてくれたり、冬の寒い日にわざわざ温かい鯛焼きを手配して頂いたことなんか有り難かったな。それに一時期早朝スタンディングを毎週した時、改札近くで肉まんをコンビニまで行き差し入れてくれたり、前日の夕刊紙を『良かったらこの記事を読みませんか?』と手渡されたこともありました。それに朝スタンディングで顔見知りになった小学生が毎回『署名して良いですか?』とたどたどしい文字で平仮名入りの名前を書いてくれた。その子が最近中学生になり遅く感じ、きちんと挨拶をしてくれただ時凄く嬉しかった。私は元中学校数学教員でしたからね」とのこと。遠足や修学旅行で鎌倉を訪れた生徒がいるという質問してくれたり、外国からの観光客との会話を楽し

めたこともあるとか。一仕事終わった後、ホット一息ついて仲間との談笑は楽しいものがある。退職前に好きな鎌倉市内の16の駅（モノレールを含む）全てでスタンディングをしたわけで、ホームタウンの我が鎌倉をそれぞれ楽しんだと思っっているようだ。

### 始めたきっかけ

「2006年教育基本法改悪の時点で漠然とヤバイと思っっていました。静観してしまっただけで、安倍内閣が集団的自衛権を閣議決定したのがキツカケです」と言い、それから運動に明け暮れる毎日になったそうだ。「無気力になるのは、しよっちゅうですよ。やめようと思ったことは何度もある」とはいえ「自分が止めたら全国で黙々と活動している無名の仲間申し訳ない」と考え、辞められなかったそうだ。でも「2018年9月、沖縄知事選勝利後に沖縄の人が本土からの応援もあって勝った」との声をかけられたりして嬉しいとニコリ。そんないいニュースはF a

cebookで拡散し、最後に「99%の市民のための政権樹立、安倍政権を倒すまで頑張りましょう」で締め括る。草野さんの「鎌倉の草野です。県下の仲間」で始まるFacebookの回数の多さ、情報量は定評がある。メールなどでの連絡、情報交換に1776人の友達とやりとりしているそうだ。日々の行動中に起こったこと、また集会などの呼び掛けや、全国の護憲の動きも発信し反応が返ってくるのが嬉しいと語る。もつと凄い人がいるよと草野さんは話を続ける。高崎で「9条を守る」の全国署名を一人で5000筆以上集めた女性にも会ったそうだ。それに「憲法9条にノーベル平和賞を！」の運動を神奈川県鷹巣さんはたった一人から始めて今では毎月1回、横浜で多くの仲間とスタンディングしているとか。確かに9条がノーベル賞をもらったら護憲の運動に弾みがつくし、安倍首相も改憲しにくくなるだろうと草野さんは熱く語った。

その草野さんは集団的自衛権容認後「戦争法案」に対して安倍総理を被告として20

15年12月損害賠償請求裁判を起こした。2度、新聞で報道されたそうだが、残念ながら2017年12月最高裁で敗訴確定した。そのように一人でも安倍政権に異議を唱える草野さん。講師として講演会に招かれたことも何度かある。

### 変だぞこの世の中は

「庶民は実質賃金や可処分所得が下がり、消費税が上がって年金の支給額が減る。安倍首相が70歳まで働けるようにと言うのは破綻しつつある年金制度の回避が目的。何故国民は怒らないのでしょうか。孫正義氏の資産は2兆2930億円、ユニクロの柳井氏は2兆210億円。一代で何故こんなに儲けられるのでしょうか。日本の税制では本来不可能なはず。彼らの言動は庶民の感覚を全く無視しています。そんなトップが率いるソフバンクやユニクロを人々が愛用するのが腹立たしい限りです。ジェフベッソ氏が1454億ドル、ビル・ゲイツ氏が959億ドル。米国民、世界の人々は何故彼らを許すのか。自分の力で儲けている

から仕方ないと思うのは間違いだ。一人の個人がかくも巨額なお金を儲けられて、経済制度、税制度を改善しない政府を支持するのがおかしい。怒りは国家予算にも向



(左) 草野氏 (中) 真山参議院議員 (立憲民主党神奈川・元ニュースキャスター) (右) 「憲法9条にノーベル平和賞を」運動の発起人

算が370億円、赤い羽根募金善意の累計が179億円。対北朝鮮のイージスアショアが2基で3000億円以上。防衛省の軍事費が年間5兆円です。赤い羽根や災害の10

0倍以上のお金が軍事費に。海外ばらまき総額54兆円、消費税を上げて法人税を下げる。社員に還元されず企業の内部留保だけが增える。安倍政権になって戦争準備の政策が露骨ですが、国民は平気なのでしょ

う。そんなトップが率いるソフバンクやユニクロを人々が愛用するのが腹立たしい限りです。ジェフベッソ氏が1454億ドル、ビル・ゲイツ氏が959億ドル。米国民、世界の人々は何故彼らを許すのか。自分の力で儲けている

けられる。「政府は軍事費を増やしてトランプのご機嫌取りに殺人兵器をドンドン買う。どうして国民は黙っているのか？」草野さんは語気を強めた。「九州地震災害の復興予

念しつつ古都を後にした。

の戦争回帰を阻止できなかつたわれわれ自身が悔しく恥ずかしいから一般市民に訴え続けていくそうだ。

今後の氏の健康と活躍を祈

## 憲法と改憲を考えるシリーズ7

## 日の丸、君が代、天皇

## そして憲法

新潟県三条市 近藤 政之



昭和天皇夫妻



平成天皇夫妻



令和天皇夫妻

私の父は大戦中旧満州に徴兵され、何とか無事帰国できたが大陸でのことはほとんど話すことなく3年前92歳で逝ってしまった。

田舎の集落で役員を担い、地元の土建会社でも役職をしながら、自民党員でもあり、各種選挙では違反で逮捕されたこともあった。奉職受賞で皇居に行ったときは有頂天で日の丸、君が代、天皇陛下万歳の典型的な年寄だった。それが晩年変わったんで

す。私が社会に出て、労組や地域平和運動に関わり、家庭内で様々なことをお互い話すようになってから。特に安倍政権以降、母も含め私の話すことにうなずくようになり、今の政治に我慢できないようでした。

いま国旗、国歌論争は下火化されてしまいましたが、日の丸で思想統制を狙い、スポーツ競技前段で君が代を流し唄うことを強制する、まさに国民会議と言われる集団が

あらゆる場面で背後霊となっています。その組織がいよいよ政治や国家権力を動員して表に出るようになりました。

今年になって「平成最後の」が流行りました。元号そのものより、日常使わせることで国家統制する魂胆が見え見えます。私個人は西暦派で自ら元号を使うことはほとんどありません。当然元号は天皇制と一体であり、国体（天皇を頂点とする国家権力機能）護持と結びついています。

各種世論調査ではこれらの問題に無関心、現状維持が大勢ですが、ここに私達にとって大きな課題があります。日常の運動の中で追求しなければなりません。

自民党政権は日本国憲法が規定する象徴天皇制に不満をもち、天皇の権威を政治の場に利用しています。この政治的な思惑は平成の安倍政権でさらに進んできています。日本が起こした侵略戦争や植民地支配への「謝罪」を求め近隣諸国に対し、天皇を政治的に利用しようというわけ

す。戦争を繰り返さないこと、戦争に対する責任を明確にす

ることは、国民が自らの主体的責任で解決すべきことであり、国民を代表する政府でそれを実現しなければなりません。安倍政権の政治を変えたのであれば私たちが選挙を通して変えるべきです。

天皇の代替わりを機にやるべきことは、なぜ日本国憲法が天皇に一切の政治的行為を禁じたのかを改めて考えることではないでしょうか。

現憲法は11章103条で構成され、前文の次に何と1章8条までが天皇関係で、これは明確に必要ありません。皇室範典でこと細かに決められており、充分機能しています。そして9条です。安倍政権は1・2項を残し「自衛隊」を明記すると言います。現憲法で記されている国の機関は90条の会計検査院だけです。さらに自衛隊を加えることで内外に認知させ、憲法で認められた機関として自衛官募集業務も自治体に強制できるといふ論法です。

学者や研究者のように詳細に触れることはできませんが、現在の改憲論争で自民党や国民会議が企てている内容が国民にとってどう関係するのか

注視しなければなりません。憲法とは立憲主義に基づくもの、つまり国民が国家権力を統制する最高法規です。私たちの生活はあらゆる法令で規制されていますが、憲法と一般法令は全く違う位置づけであることを拡く訴えたいと思います。

そして、今も今後も一番憂慮すべきことは防衛省・自衛隊の位置づけと軍事予算関係です。航空母艦建造、1機116億円もの戦闘機を147機、イージス・アショアのミサイル防衛システム等、国民にとって必要ないものが今後5年間に28兆円もの予算で組まれています。この金額を真に国民生活に活かせば健全な福祉・平和社会が実現できます。

もちろん異論もあるでしょうが、人が、そして生き物がこの緑の地球上で生きていくには成しとげなければならぬ大きな課題です。憲法序文は「崇高な理想」をうたっています。国や人が争うことがいかに無意味で醜いことか、考えると眠れない日が続きます。

# 自費出版した

## 「ドイツ進出奮闘記」



在ドイツ・デュッセルドルフ

後藤 昌三

工科系の大学を出て電気関係の企業に勤め、ドイツに赴任を命じられた時にはまさか異国の地で骨を埋めるとは思わなかった。夢中で仕事した青年、壮年時代を終えて1995年ごろ、フランクフルトの行きつけの寿司屋で一杯やっていたら、板前さんが、「後藤さん、もうドイツに来



著者が毎年末に主宰するJDKlassik。日欧の新人の音楽家が集って奉仕する音楽会の一コマ

られて25年も経つものだから、面白い話がいっぱいあるでしょう。それを私の関係の人

のブログに載せませんか？」と言われて、ブログなどという言葉も知らないまま、渡独の頃からの体験談を連載しはじめた。

そのうち「乱れうち瓦版」(現「LIFE CROSSING」)を同窓のよしみで知るこ



拙著は南ドイツのリゾート地での生活から始まり、後半はデュッセルドルフの駐在員生活から欧州を巡る実業の世界まで書いています。ご体験として書かれたら幸いです。読んだらぜひ次書です。

とになった。この瓦版はなかなか論客が多く、さて、私の「日本男児奮闘す！」が受けるのかどうかおっかなびっくりだった。そのうち、私の右目が「黄斑円孔」という奇病にかかり手術を受けた。ドイツ人医師の不器用ぶりもあって、日本での手直し手術等で計5回も手術を受けることになり、残念ながら投稿は続けられなかった。歳月が経ち、

独立開業のコンサル業も落ち

ついたので本書を書き始め、第一巻として1970から1984年までの、日本の大手電子部品会社の駐在員時代の体験をまとめてみたのがこの本で、先進技術国ドイツの一面を紹介した。ドイツゲルマン人相手の事業を綴ってみた。日本に帰国する時々「ドイツ人はゲルマン民族でしょう？」と聞かれる。聞く人はいいてい、島国日本の大和民族との類推で考え、そこで自

然発生的に日本語のようにドイツ語も出来上がったと考える。ところがちがう。

8世紀の欧州の地図を見ると、東から西への太い民族移動の矢印や北から南、或いはバルト海やドーバー海峡を渡る方向の線が流れている。有名な民族大移動だ。ヨーロッパ人の源流はこの大移動なくして語れない。理解できない。アジアから騎馬民族が押し寄せてくるのに押されるよう

に、東から西に民族が移動してきた。同時に北欧から発達した航海技術でヴァイキングが沿岸伝いに上陸し、さらに河をさかのぼって各地に侵入していったのが分かる。その流れは地中海にまで入りこみ各地に入植していった。このように一口でドイツ、欧州といっても、各地の人々のメソナルや様相は複雑多岐だ。そのような西欧で戦争も次々と起こった。腕っぷしの強いヴァイキングが、北フランスに入植し、さらに英国島にわたり、ヘンリー大王になった。こう考えていくと、そもそも、どれが生粋のドイツ人か



ニュールンベルグの顧客との実務風景

と聞かれると、実ははつきりしない。現在のドイツ語というのはどうして発生したのだろうかというところ、どうもマルティン・ルターが宗教改

革を進めるときに、各地を回り言語学的に解析し、基本になる文法を確立したことがベースになっているらしい。そしてタイミングよく、グーテンベルグによって発明された印刷機で新教の聖書を、大量生産できたことが今日のドイツ語の基本を確立したといわれる。新教は北ドイツに広く普及した。

今日、難民が何十万とやってきても、まずドイツ語学校にいられてドイツ語を教える。教科はシステマティックにできていて、段階的に難しくなっていく。ある一定期間内にB2という試験を通らないと、滞在VISAが下りない。かようにドイツに滞在するには、有機的に構築された教育訓練システムで鍛えられなくては金を稼げないのだ。かく申す私も、1970年に渡独し、まず、ドイツ語学校に半年行くことから駐在員生活を始めた。この続きは是非本書を繰ってみて下さい。ご購入はタウン誌「LIFE CROSSING」編集部に問い合わせを。

読者特典で送料・税込みで2500円です。

# 藤沢周平(下)

## —故郷(ふるさと)忘れ難く—

鎌倉市 市川 隼



日本海の落日(湯野浜-鶴岡-)

山本周五郎は、甲斐に生まれたが、横浜で幼少期を、東京木挽町で少年期から青年記を過ごし、故郷への想いを封印した。藤沢周平は、「\*\*新潟から山形へと県境を越えるところから、左手に海が見えて来る。折から海に日が沈むところであった。いまひと息で読み終わる小説への興味に、ついに日本海の落日が打ち勝ち、私の眼は窓の外の光景に釘付けになる。そして胸の中では、こんなうつくしい風景がよそにあるのか、とつ

ぶやいたのである」(『ふるさとへ廻る六部は』)と記し、病で故郷庄内を追われたが、故郷への想いを忘しがたく、初期の作品の直木賞受賞作『暗殺の年輪』で、「\*\*ここから7万石海坂藩の城下町がひろがっている。城は、町の真中を貫いて流れる五間川の西岸にあつて、美しい五層の天守閣が町の四方から眺められる」として、故郷を「海坂藩」へ置き換えて登場させ、その後の数々の作品で、『海坂藩』を描いた。

俳句の同人誌『海坂』へ投句が、周平の文学への眼覚めでもあり、闘病中の慰めでもあったが、「海辺に立って一望の海を眺めると、水平線はゆるやかな弧を描く。そのあ

るかなきかのゆるやかな傾斜弧を海坂と呼ぶと聞いた記憶がある。美しい言葉である」として、故郷への想いが、架空の海坂藩を創り出した。井上ひさしは、周平の良き読者であり、周平が紡ぎ出す海坂藩を丹念に追い、海坂藩絵図を描いている。そしてその絵図は、周平の故郷の城下町鶴岡を描く事になった。庄内藩は14万石で、実質20万石とさられていたが、海坂藩は7万石で、庄内藩の半分で、北国の「小藩」と読者に理解されがちだが、7万石は決して小藩でなく中藩であり、分類によつては大藩に属する。幕末の280藩中、10万石以上は52藩。7万石以上を加えても64藩に過ぎず、7万石未満は216藩にも上り、2万石以下の小藩は110藩にも上っている。山形は8藩に分割されていたが、庄内藩と米沢藩以外で最大の藩は新庄藩の6万5千石であり、織田信長の末裔の天童藩は2万石に過ぎなかった。(中嶋繁雄『大名の日本地図』小藩であれば、お家騒動等で対立する余裕もなく、天童藩では、藩士の生活を維持する為に、家老

自らが「殖産」に励み、将棋の駒を藩士の手内職とさせたが、中藩以上の海坂藩には余裕があつたのか、賢主と言いたい藩主や家老達のお家騒動で、下級武士達は右往左往させられ、周平の描く格好の舞台が詠えられた。庄内藩は、最上氏改易後、1622年に松代藩の酒井忠勝が入府し、幕末まで酒井氏の領地となるが、1634年には忠勝の弟忠重(長門の守)のお家乗っ取りの陰謀や、1840年には、川越藩主松平齋典(なりつね)による三方領地替え(川越藩、長岡藩、庄内藩)の画策等、数々の危機に見舞われる。周平は、これらの庄内藩に纏わる史実も丹念に洗いながら、『長門守の陰謀』、『義民が駆ける』等の作品を纏め上げ、庄内出身の清河八郎を、『回転の門』に描いた。



井上ひさし絵図(文芸春秋 藤沢周平の総て)

周平は郷土の景色や味覚を、海坂を舞台にした小説で取り上げた。『蝉しぐれ』と『三屋清左衛門残日録』は、特に読者から愛されている作品だが、『蝉しぐれ』では、蝉の鳴く声が作品の主旋律となり、時には泣き声となつて、読者へ届いた。父の遺骸を引き取りに龍興寺に赴いた時に蝉が泣き、お福様と永久の別れをした時にも、耳を聳するばかりの蝉しぐれが助左衛門を包んだ。『三屋清左衛門残日録』では、清左衛門が旧友熊太や平八達と料理屋浦井で杯を交わす時、至福の今に、鱈汁、はたはたの田楽・湯上げ、赤蕪、民田茄子等が添えられた。藤沢の名も故郷と結びついているようだ。時宗遊行寺の上人が説法に来て没した時、上人の徳を讃え、庄内の梅ヶ沢の地を藤沢に変えたとの事で、亡妻がこの地の出身であった。周平は、妻の想いを大切にし、藤沢の名にも故郷を被せた。

## 教育のひとこま

小学校の教諭をやっていたが、結婚して子どもを産んだ後は、寺子屋を30年ほどやっている。

その間には時代も変わり、いろんな子がやってきた。私はどんな子も神様に預けられたと思ってお世話をしている。



「子どもの心は……」(中田恭子さんの作品)

いるので、どの子も嫌いと思ふことは決してない。時代が変わったとは言え、子どもたちの本質は変わらない。楽しいことが好きで、良いことが好きで、褒められたい、愛されたい、認められたい。そして人生の道を探したい。だからこそ何のために勉強するのかと言う人生の目標を見つけてるまで、前にニンジンをおぶら下げたり、励ましたり、注意をしたり、叱ったりあげたり、それは毎日毎日がドラマの連続だ。

少し前の子たちは、心の声を出さずとも皆、喜んで助けてくれた。これはその子が意地悪なのではない。近頃の子どもはあまり動かないでも周りがすべてやってくれる環境にあるからだ。その子は悪びれてもない。まして恭子ママがそれほど弱虫だと思ってもいい。

かけより重いことがわかったらしい。恭子ママよりも俺の方が強い、と思ったのか。残りのもう1個も進んで持ってくれた。「ありがとうね、助かったよ。でも恭子ママは強制なんかしてないからね」と言ったらその子はニヤニヤしながら「俺がやりたくてやりました」と言った。嬉しそうな顔になっていった。きつとこの子は次は私が心の声を発せずとも自らそういう状況になったら動いてくれるだろう。

近頃のドラマで面白いことがあった。

そこで恭子ママはもう一声かけた。「もう立ち上がってきてくれるだろう。もう手伝いに来てくれるだろう」と心の声を大声で言ってみた。するとその子は「勉強してるので」と断りの言葉をポツリと言った。

人の役に立つ喜びを経験できたのだから。小さなドラマの重なりあい

「買い換えたので」とまだきれいな椅子を下さった方があり、私は何十年も頑張ってくれた私の教室の椅子を思い切つて捨てることにした。

「勉強している」と言うところ近頃の大抵の大人は引くらしい。だけど恭子ママは引かない。また心の声を発した。「いやいや勉強なんて人の役に立つためにやっているのでから、人が困っていたら助けてやらなければ何のための勉強してるんだかね。あー、心の声が止まらない」

小さなドラマの重なりあいがわざわざ1+1=2を教えるよりも大切なこともある。私はいつもそう思つて寺子屋を、細々と何十年もやってこれたのだ。

丁度、早くきた力の強い子がいた。「玄関まで運ぶの手伝って」と言うところ下を向いている。「きつと恭子ママが重いのも持っている」と動かすにはいらねなくて手伝ってくれるに違いない」と心の声を声に出して言ってみた。動かない。

その子は仕方なく立ってきた。ニヤニヤしながら椅子を持って手伝ってくれた。椅子が3個あった。恭子ママが1つ、その子が1つ。すると見

ちなみに始めた時は自分の子供にママと呼ばれていたために、恭子ママと言うニックネームがついた。孫ができた今も、孫と同じ歳の子供からも恭子ママと呼ばれてはいるが、本当は恭子婆婆のはずだ。あつという間に歳を重ねてしまった。(笑)

# 組織も金も人もいない 主婦でも当選できた区議選挙

東京 深川 馬場 正雄

4月21日東京江東区会議員選挙で32歳の若い女性酒井なつみさんが初めて立候補して4622人に支持され高順位6位で当選した。皆さんにもこんな選挙を知ってもらいたい。普通のどこにでもいる共働きの母親が政治家になろうと決心し、彼女の生き方、選挙運動を貫き誰もが想像もしなかった票をもらって当選したのである。

組織も知名度もお金も支援者も少ない彼女はどう選挙運動をしたのか？最後の演説は涙声であった。自分の納得できる運動をやってきた、そして次第に色んな人からの応援や支援の声をもらった満足感がよぎったからだそうだ。

最初に聞いた時は驚いた。選挙カーは用意しない、選挙事務所はない、公選ハガキも出さないと。お金がないから（当初工面したの

は50万円ぽっきり）も理由だが、それは彼女の信念であり運動のスタイルでもあった。ポスターやチラシには《騒音・税金のムダづかいの



投票前日マイクを握る酒井さん、子供連れ、赤ちゃん抱っここの運動

街宣車は使いません。やっとな寝ついた子どもが泣いて起こされた悲しい経験を忘れずに」とある。名前の連呼で何を分かってもらえるか。

自分の政治姿勢を理解してもらって投票して欲しいからだ。2度目、3度目に会った時の彼女は自転車に赤ちゃんを乗せてやって来た。正直こんなので選挙になるのかなと不安を覚えた。

立候補の覚悟を最初に打ち明けたのはサラリーマンの夫。初めは冗談と取りあってくれなかった。が、何度も説得し、選挙の参考の本を熱心に勉強するうちにやっとな信じてくれて《子どもの保育園を退園させないことを優先する》という条件で同意と協力を取り付けられた。関係者が集まるだけで、激励ビラは貼りまくる事務所はそんなに意味がない。ネットやメールで連絡を取り合えばよいことだ。党の窓口のベテラン秘書氏から「公選ハガキ用の名簿を集める労力を他に向けた方が貴方の運動に叶う」とアドバイスを受けた。だから電話作戦もやらない。

じゃ、何をするのか？選挙前何ヶ月前から活動地区の何か所かの駅前やママたちが集まる公園やスーパーでひたすらハンドマイクでほぼ毎日呼びかけることだった。たった一人で気温3度の中でマイクを持った時はさすがにきつかったとのこと。立憲民主党の公認が認められて党の旗を横に立てるようになって少しは訴えやすくなったそうだ。それも1歳の赤ちゃんを保育園に預ける合間での活動に限られる。夫君の方は3種類のチラシを半年前から毎晩のように会社から迂回して地域に戸別の投げ入れを担当した。彼は一人で4万枚以上撒いたなど笑って答えた。他方、彼女は家事・育児を終えた自分の時間に、連絡や原稿書き、メールに毎日3時間ほど費やし12時を回ることもしばしばだった。助産師・看護師として勤務した大病院は休職を認めてくれなかったので2月まで勤務を続けて退職した。

## 若い政治無関心層に呼びかけた

《お母さんが明るく子育てできれば世の中がきつと明るくなる》社会を作ろうと政治

家になる決心をしたのは彼女自身が子宮頸がんを闘い、不妊治療を受けた経験者だからだ。それにお金がなくてできる自分らしい選挙の思案を重ねてきた。辻立ちを重ねるにつれ、選挙戦が進むにつれ、「チラシを読んだが貴方に会いたかった」「以前にも駅前で見かけた」「期日前投票でさつき貴方に入れてきたよ」などと駆け寄り人が増えてきたと嬉しそうに語ってくれた。彼女に悲壮感はない。決まった時間に少数で淡々と思いをマイクで呼びかけていた。実は選挙運動の最後は5時で終えた。

運動も議員活動も生活のベースをくずさないために無理をしないと説明してくれた。辻立ちに走り回るわけではなく時間になると自宅に引揚げて休憩しまた出かける。選挙戦中でも一人で立ったこともある。あんな運動量では当選は無理と思った世人も多かった。でも彼女は「若い世代に政治に選挙に関心を持つ」と率直に言えたのが嬉しかったそうだ。打ち上げの席で少数の支援者だが、「彼女のひととなり、選挙法を理解し愉しめた」と口を揃えた。

## 酒井なつみさんの選挙に参加して

東京都 (H)

右ページの酒井なつみさん  
と何の縁もない私がほんの4  
月から手伝った感想です。

誰でも金をかけずに同じ事  
をやれば、当選するのと同じ  
えば、そうではありません。  
彼女には厳しい体験に基づ  
いた立候補のモチーフと強い



ヘッドマイクとチラシで通勤者に1人で呼びかける  
酒井さん (今冬)

意志があつて、最初は誰もが  
危ぶむ中、共感もあつてお手  
伝いし始めたものが、やつて  
いる内にその意志に惹かれて  
最期はみんながどうしても勝  
たせたいという思いになった。  
最終日の写真を見れば、  
ちよつと前まで選挙などに  
は全く縁のなかつたふつう  
の人々がこれだけ真剣な顔  
で選挙に向かい合っている。  
そのことは有権者にあつて  
も同じで、彼女にシンパシー  
して、新しい議員の誕生とそ  
の後の活躍に期待してそれが  
予想外の得票につながったの  
だと思ふところです。

## 読者からのお便り

●前号最後のページで、驚き  
↓普段あまりしないGoogle  
Ieをアレコレみて、今、  
吐き気を抑えています。あ  
の「東京に原発を」の著者と  
名前が似ていて 以前から似  
た名で 似た主張してはるん  
やな…とか、ふと、ええ加減  
な感想もつた覚えがあります  
が。エライ同列化して広瀬隆  
氏にお詫びせんなん感じす  
わ。私マスコミ嫌いで情報  
に疎いです。疎くていいと居  
直つてるところもあります。  
今日はそんな私に貴重な一撃  
を頂きました。御礼を記事へ  
の共感と記事の事実への怒り  
を込めて申し上げます。機会

あれば、増山様にもお伝え下  
さいませ！勘違い寸前を含め  
て、衝撃的な紙面・情報でし  
た。誤解防止、問題性の確認  
の為に追加記事を掲載され  
る事に大賛成です(〇〇)〇〇/  
(大阪・元教師)

●2014夏39号の「Cro  
ssing」前紙(「乱れ打ち  
かわら版」)に村嶋孟様のこと  
が載っていました。小生、昭和  
20年、満州の黒河というところ  
で生まれました。日本へひ  
きあげる途中、汽車の中で赤  
子が亡くなった時、窓の外へ  
放り投げたことを両親から聞  
かされていました。こうして  
無事に日本に帰れたことを有  
難く思っています。一部の金  
持ちが軍部に話しかけて戦争

を起こしたのです。そこから  
一気に全国に広がったのです。  
今の経団連の会長のような人  
がいたから起こったのです。  
満州にはまだ帰りたくても帰  
れない日本人が多数います。  
中には子どもを中国人に預け  
たり中国人に売られたり両親  
とはぐれた子どもたちがいま  
す。今は中国人として暮らし  
ていることでしょう。2度と  
戦争を起こしてはだめです。  
良い戦争などありません。食  
べ物は粗末にしないで無駄に  
しないように食べています。  
2・26事件、銃殺された兵  
士を思い、当時の天皇陛下に  
抗議したいです。  
(東京都足立区 満州生まれ  
の引揚者)

## 編集後記

本誌の如く季刊誌はタイムリーな記事  
が難しい。今回小泉純一郎元首相の原自  
連の講演を初登場の星野氏に急遽お願い  
した。それで打ち切りと思いきや、本誌  
も関係した統一地方選のユニークな選挙  
とその結果を印刷所に無理言って差し替  
えてもらった。次号でご本人に選挙戦を  
書いてもらいます。まだ日本の選挙民も  
見捨てたものでもない。そして駅前の演  
説と言えば今回鎌倉の草野氏グループの  
長年に亘るスタンディングの呼びかけを  
インタビューしました。平和を願う草野

氏の熱意にはただ頭が下がります。両者  
が近くで別々に呼びかける姿を想像した  
ら面白いですね。それでも多くの鎌倉市  
民は、若者は素通りするのです。  
市川隼氏の3回にわたる藤沢周平論に  
引かれて小生は4月に山形県鶴岡市の作  
家の記念館と隣の酒田市の土門拳写真館  
を訪ねました。近年多くの作品が映画・  
テレビ化されており、緻密な取材力には  
驚かされます。他方、女人高野の室生寺  
や筑豊炭鉱を撮った社会派写真家も忘れ  
てはならない人物です。

# 新しい時代 新しい私 みつけよう

一般社団法人ユーラシア国際映画祭 代表  
アースアートファクトリー代表 映画監督 画家  
増山 麗奈

前回の広河隆一氏の性暴力に対する原稿には多くの読者の皆様からのご意見をいただき、感謝しています。あれから、日本の女性への人権感覚は相変わらず劣悪です。「DAYS JAPAN」最終号は、「性暴力検証号」と言いながら、被害者側の意見を掲載せず、えんえんと加害者広河隆一氏の言い訳を掲載。また、伊藤詩織さんを暴行した元TBSワシントン支局長で安倍総理に近いジャーナリスト山口敬之氏が、性暴力ビジネスに私を利用したと被害者の伊藤詩織さんに対

して、1億3000万円もの賠償金を請求する裁判をしかけています。さらに秋元康氏率いるAKBグループAKSの新潟支部NGT48の運営は、ファンに性暴力未遂の被害を受けたメンバー山口真帆さんに対して、本人に謝罪を強要。犯人を起訴せず犯人とつながっているメンバーに対しても処分なしという到底検証とは言えない組織擁護体質を記者会見で明らかにしました。権力側は弱者をレイプしても罪を問われない。やれやれ、みかん箱に発生したカビが広がっていくようです。

こういったカビを繁殖させているのは、私たち一人一人の沈黙です。だから、私は小さな暴力を見つけたら見逃さず対応します。つい昨日も自分が理事を務める学会の中で女性への執拗ないじめ行為やストーカー行為があったことを、会長



地球のリズム・自然の息吹を感じる新しい時代の生き方をイメージして描きました(春の息吹)(増山麗奈作)

に報告し対策を求めました。だってそうしないと、自分たちが「DAYS JAPAN」になってしまおうではないですか。空気を読み、何も発言をしないほうが、楽かもしれない。でも、そうしたら足元から、自分が腐ります。読者の皆さんも勇気を持って皆さんの所属する組織で同じような状況が起きたら、声を上げて被害者に寄り添ってください。私は日々「腐っていくみかん箱から抜け出したい」と蟻地獄のように足掻いています。

倍の被曝を日本国民に強いいる。様々な悪事を報道規制などでごまかしても、国を構成する個人の体、組織、企業が砂のようにさらさらと崩壊し、立ち行かなくなる。というのが私の見立てです。みかん箱の一つ一つのカビに異論をとねえることも続いています。正直軽蔑する人に関わる時間は苦痛なので、よりポジティブな次の地平をつくることに注力しています。次の地形とは、日本から海外に避難する、とか地理的な移動だけではなく、人と人、組織との勇気と愛情で繋がるしなやかな国際的ネットワークを構築することです。

私が代表する一般社団法人ユーラシア国際映画祭や、イベント映像制作アースアートファクトリーでは、アートや映像を世界中をマーケットに販売し、様々な立場の人たちがお互いを尊重する場を提供しています。ロシア文化省とロシア映画祭を企画したり、ジョージア映画祭を企画したり、台湾に地震支援や文化交流を企画したり。その中で出会った海外の方達の有能さに驚きます。国際交流に関わる通

訳やコーデイネイターは3、4ヶ国語を操り、ユーモアに溢れる超エリートばかりです。振り返ると、硬直して新人をいじめ組織ごとオワコンになっている日本社会のヤバさに気がつきませぬ！(恐!) 恐怖に怯え萎縮しあうカビだらけのみかん箱から、しなやかに能力を花開かせる地平へ進みませんか。ご感想ご意見、反論お待ちしております。●9月14日から22日までロシアのアムール地方の首都ブラゴベシチェンスク市にて開催されるロシアの5大映画祭の一つ、アムールの秋映画祭の日本シネマデイズを企画します。黒澤明監督が日露合同映画を作ったあと止まったままだった日露文化時計の針を再稼働。日本の祭りをテーマにした映画や最新のエンタメを紹介してきます！

●増山麗奈のアートや映画で未来を作る活動を毎月定期で応援していただくためのプラットフォームができました。「増山麗奈 キャンプファイアー」で検索してみてください  
<https://camp-fire.jp/projects/view/101978>

増山麗奈美術館所沢 所沢市和が原1-3031-70 電話 090-9133-6430(齋藤) 西武池袋線「狭山ヶ丘駅」徒歩8分  
6月1日(土) 2日(日) 7月6日(土) 7日(日) 8月3日(土) 4日(日) 9月7日(土) 8日(日)  
毎月第1土・日は催物を行っています